

くるべかんが 久留倍官衙遺跡公園

(くるべ古代歴史公園・くるべ古代歴史館)

OPEN

オープン

古代の風を感じられる憩いの公園

「壬申の乱」(672年)や「聖武天皇の東国行幸」(740年)など日本の古代史解明の上で重要な意味を持つ遺跡として、平成18(2006)年に本市で初めて国の史跡に指定された久留倍官衙遺跡。
ガイダンス施設「くるべ古代歴史館」に続き、公園施設「くるべ古代歴史公園」の整備が完了し、両施設を合わせた「久留倍官衙遺跡公園」が、11月1日にオープンします。



建物の柱跡

長大な建物跡

短い柱で建物の柱跡の位置を表示しています。建物の広さを実感できます。



長大な建物(イメージ図)

せいでん 正殿跡

建物は正殿の復元ではなく、柱跡に柱を配した、あずまや風の休憩スペースです。



はっきゃくもん へい
八脚門・塀
政庁の正門と政庁を囲む塀(一部)。史跡を代表する建物として、できる限り古代の工法や木材の種類で復元しました。

しょうそういん 正倉院跡

正倉(倉庫)の柱跡を平面的に表示しています。



◀正倉院(模型) ▲正倉院跡

久留倍官衙遺跡公園 案内図



久留倍官衙遺跡公園位置図



11月1日(日)オープンイベント

10:30 オープン式典
11:00 公園一般公開
17:00 記念コンサート「観月会」
(月を見ながら楽しめる、和楽器を中心としたコンサート)

久留倍官衙遺跡公園

所在地: 大矢知町2323-1
主な施設: くるべ古代歴史公園、くるべ古代歴史館
駐車場: 無料(バス3台、乗用車20台、おもいやり駐車場2カ所4台)
鉄道の利用: 三岐鉄道大矢知駅より徒歩約15分
近鉄富田駅より徒歩約25分

くるべ古代歴史公園

開園時間: 4月1日~9月30日 6:00~20:00
10月1日~3月31日 7:00~18:00
休園日: なし

くるべ古代歴史館

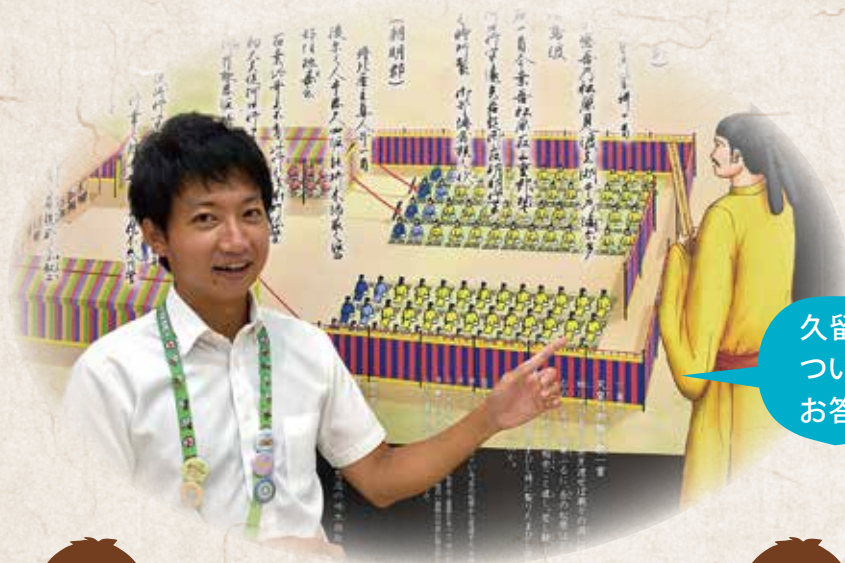
久留倍官衙遺跡のことが分かる!



学芸員や市民ボランティアが丁寧に解説します。

開館時間: 9:00~17:00
休館日: 月・火曜日(休日の場合は翌日)、12月29日~1月3日 ※臨時休館あり
入館料: 無料
連絡先: ☎365-2277 Fax365-2288
ホームページ: 「くるべかんがいせき」
(HP <https://www.city.yokkaichi.mie.jp/kyouiku/kurube/>)
詳しいアクセス方法は、YouTubeで検索

久留倍官衙遺跡公園(くるべ古代歴史館)までのルート 検索



教えて! 学芸員さん

久留倍官衙遺跡についての疑問にお答えします。

社会教育・文化財課学芸員
渡部敦寛



久留倍官衙遺跡ってなに?

「久留倍」は大矢知町のあざ名で、「官衙」は役所という意味です。久留倍という場所で見つかった役所の遺跡ということになりますね。古代の伊勢国朝明郡の役所「朝明郡衙」に当たると考えられ、現代で言えば市役所に当たる場所です。



どうして役所だと分かったの?

柱の跡などから、大きな建物が向きを揃えて建っており、八脚門という立派な門があったことが分かりました。また、役人が文字を書くために使っていた硯(円面硯)や文字が書かれた器が見つかり、字を書く人がいたことが分かりました。これらのことから、役所だったと考えられています。また、ここから見つかったものではありませんが、当時の都があった平城京の遺跡(奈良県)から「朝明郡」という文字が書かれた木簡(墨で文字が書かれた細長い木の板)が見つかり、都に運ばれた布などの税に付けられた荷札と考えられています。



どうして遺跡を残すことにしたの?

以下の三つの特徴があったため、日本の古代の地方支配体制が分かる重要な遺跡として、平成18年に国の史跡に指定され、残すことになったのです。

- ①政庁や正倉院などの施設の全体像や移り変わりが分かる遺跡である
- ②古代の役所は通常南向きであるのに対して、久留倍官衙遺跡は東を向いている
- ③「壬申の乱」※1「聖武天皇東国行幸」※2などの歴史上の事実との関連があると推測される



東を向いている政庁(イメージ図)

※1 大化の改新を行った中大兄皇子(天智天皇)の弟である大海人皇子(天武天皇)と、天智の子である大友皇子が次の天皇の座をめぐる争った戦い

※2 聖武天皇(天武天皇のひ孫)が、伊勢国や美濃国(岐阜県)などを巡った行幸



壬申の乱の劇(朝明中学校 平成28年)



いつからいつまであったの?

約1300年前の飛鳥時代から奈良時代に移る時期に建てられ、平安時代前期まであったので、約200年建てていたと考えられています。でも200年間同じ建物でなく、大きく三つの時期に分かれて、姿が変わっているんです。まず、I期(飛鳥時代~奈良時代)は儀式や事務を行う正殿を中心に、八脚門からぐる

木簡に文字を書く役人(イメージ図)



聖武天皇東国行幸(イメージ図)

りと堀で囲まれていました。II期(奈良時代)はI期の正殿や八脚門などがなくなり、長くて大きな建物が建っていました。これは聖武天皇(奈良の大仏を作った天皇)の行幸に関連する建物であった可能性があります。III期(奈良時代末~平安時代前期)は、当時の税である米を収めておく倉庫(正倉)が立ち並び「正倉院」があり、地元の役人が管理していました。



I期の建物(模型)



正倉(イメージ図)



大事な遺跡ということなんだね!

イベント情報

公園開園記念企画展

「聖武天皇と久留倍~再現された正倉院の品々~」

時 10月28日(水)~12月6日(日) [11月7日・28日(いずれも土曜日) 10:00からは展示解説会]

所 くるべ古代歴史館

内 聖武天皇にゆかりの深い東大寺正倉院宝物の再現品(奈良女子大学所蔵)を展示します

申 不要

くるべ講演会

「壬申の乱と郡衙~久留倍官衙遺跡と弥勒寺官衙遺跡群~」

時 11月21日(土) 13:30~15:00

所 あさけプラザ第4・5展示室

師 田中弘志さん(元関市協働推進部文化財保護センター所長)

定 40人(応募多数の場合は抽選)

他 申し込み方法など、詳しくは広報よっかいち10月下旬号に掲載します

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は

社会教育・文化財課 ☎354-8238 FAX354-8308

くるべ古代歴史館では他にもこんなことができます

※現在、「体験」は休止しています

缶バッジプレゼント

日替わりスタンプを3日分集めると、6種類の缶バッジの中から好きなものを差し上げます。



古代衣装体験

古代の衣装を着て、古代の人になりきってみましょう。

木簡体験

古代の役人の気分になって、木簡に字を書いてみましょう。

※他にも勾玉作り体験(写真右)などのイベントを実施しています



※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントを中止・延期、内容を変更する場合があります。詳しくは、くるべかんがいせきホームページをご覧ください